

資料

1. A小学校における生活科・総合的な学習の時間
「やさしさってなんだろうな？」全体計画

2. 視覚障害体験授業の実施例

3. 「総合的な学習の時間」における障害体験学習の指導案
 - (1) 視覚障害体験学習
 - (2) 聴覚障害体験学習
 - (3) 車いす体験学習
 - (4) 高齢者体験学習

A/小学校における生活科・総合的な学習の時間「やさしさってなんだろうな？」 全体計画 (2004年度)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
指導時数	2～4時間	2～4時間	15時間程度	15時間程度	15時間程度	15時間程度
実施時期	3学期	2学期後半	2学期後半	2学期前半	1学期後半3学期2月	3学期
学習題材	ことばあそび	ことばあそび	視覚障害体験	難聴・言語体験	車イス体験	高齢者体験
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・大きく・はなす・伝えることのたのしさを知り、伝わらない不自由さ、わからない時の不安な気持ちを知る。(コミュニケーション・情報伝達障害) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害についての知識を学ぶ ・聴覚障害についての知識を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・車イスの観察や校内疑似利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間学んできた疑似体験を基に、高齢者疑似体験を組み立て、実際に行う。 ・定められた観点に基づき、解決の糸口を探る。 ・「やさしさ」に対する自分の考えをまとめ発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間学んできた疑似体験を基に、高齢者疑似体験を組み立て、実際に行う。 ・定められた観点に基づき、解決の糸口を探る。 ・「やさしさ」に対する自分の考えをまとめ発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間学んできた疑似体験を基に、高齢者疑似体験を組み立て、実際に行う。 ・定められた観点に基づき、解決の糸口を探る。 ・「やさしさ」に対する自分の考えをまとめ発表する。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. しりとりにあそび 2. 限定のある(さ行音不可、か行音不可など)しりとりにあそび→ことばあそび 3. うまく言えないと生活が不便 4. 絵をみながら町の中心にある工夫について探し、考える。 5. 3年生から6年生までの4年間で授業についてやさしさの授業について簡単に予告する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口ばくビデオで難聴体験。 2. きこえないこと、不安やいらぬことを知る 3. どんどこきこまるかな？ どうすればいいのかな？ 4. 絵をみながら町の中心にある工夫について探し、考える。 5. 3年生から6年生までの4年間で授業についてやさしさの授業について簡単に予告する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 視覚障害について簡単な知識を知ろう。 2. 折り紙、ボールキャッチ、歩行、衣服の着脱等の疑似体験を行い、不自由さを知らう。 3. 課題に対して調べ学習を行う。生活上の工夫について調べよう。 4. 体験や調べ学習によってできた疑問点について全盲の方に尋ねてみよう。話をうかがおう 5. 視覚障害についての知識をさらに知ることが出来るか考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオで難聴の方の話を聞く。発音について学ぶ。 2. きこえやお話の仕組みについて知る 3. 『補聴器って知ってる』ビデオで学ぶ。 4. 疑似体験を行い、難聴のある人の不便さや気持ちについて考えよう。 5. 体験や調べ学習によってできた疑問点について聴覚障害のある方に尋ねてみよう。話をうかがおう 6. 難聴についての知識をさらに知り、なにができるか考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車イスについて想像しよう。 2. 車イスを観察し、実際にのってみよう。 3. 車イスで校内探検をしよう。介助の仕方を考えよう。 4. 車イスにとってどんなところが不便だったのだろうか。 5. 学校や町ではどんな工夫があるのだろうか。 6. 実際に車イスで生活をしていながら、学習の成果を報告しよう。話をうかがおう。 7. わたしたちになにができることはなんだろうか？ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者に関する基礎知識を学ぶ。 2. 今まで学んだ体験をもとに、高齢者の疑似体験を組み立てて、体験をしてみよう(ミニもみじ箱セットなど使用)。 3. 体験から課題をみつけ、調べ学習を行おう。 4. 学習や現状に基づき、自分なら将来どんな工夫をするか、夢を語ろう。 5. 「やさしさってなんだろう」小学校時代の自分の見解(意見をみんなに伝えよう)。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業を通してコミュニケーションの基本(【聞く・話す・話し合う】の基本姿勢)を身につける ・本授業を通して学習の仕方を身につける(【知識を得る→体験する→考える→まとめる→伝える→話し合う】の過程を重視) 					

